

井上瑞 業績一覧

主な論文

著書

タイトル：脳梁失行に対するリハビリテーションの一例

著者：吉田 瑞, 笠井 史人, 水間 正澄

発表誌名・ソース：Journal of Clinical Rehabilitation 別冊 高次脳機能障害のリハビリテーション Ver.3

巻・号・ページ：360-363

刊行年月日：2018年

出版社：医歯薬出版

総説

タイトル・書名：【高齢者の視覚関連高次脳機能障害】 高齢者の視覚と関連した失認
視覚失認

著者：吉田 瑞, 高山 吉弘

発表誌名・ソース：老年精神医学雑誌

巻・号・ページ：17巻 823-828

刊行年月日：2006年

出版社：ワールドプランニング

タイトル・書名：【Parkinson 病 What's new?】 臨床症状 パーキンソン病と認知機能

著者：吉田 瑞, 高山 吉弘

発表誌名・ソース：Clinical Neuroscience

巻・号・ページ：25巻 48-49

刊行年月日：2007年

出版社：中外医学社

症例報告

タイトル・書名：腸腰筋腱に由来した両側弾発股の1例

著者：吉田 瑞, 野沢 雅彦, 廣瀬 友彦, 松田 圭二, 黒澤 尚

発表誌名・ソース : Hip Joint
巻・号・ページ : 24 巻 409-411
刊行年月日 : 1998 年
出版社 : 医事出版社

タイトル・書名 : 未知相貌の誤認を呈した 1 例
著者 : 吉田 瑞, 高山 吉弘, 水間 正澄
発表誌名・ソース : リハビリテーション医学
巻・号・ページ : 43 巻 365-370
刊行年月日 : 2006 年
出版社 : 三輪書店

タイトル・書名 : Recovered recall memory after decompression of the fornix by surgical removal of pineal tumor
著者 : Yoshida M, Hayashi T, Fujii K, Kawai K, Tsuji S, Iwata A.
発表誌名・ソース : Neurology
巻・号・ページ : 23 (86) : 790-791
刊行年月日 : 2016 年
出版社 : LIPPINCOTT WILLIAMS & WILKINS

タイトル・書名 : Selective impairment of On-reading (Chinese-style pronunciation) in alexia with agraphia for kanji due to subcortical hemorrhage in the left posterior middle temporal gyrus
著者 : Yoshida M, Hayashi T, Fujii K, Ishiura H, Tsuji S, Yasuhisa Sakurai
発表誌名・ソース : Neurocase
巻・号・ページ : 26(4):220-226
刊行年月日 : 2020 年

原著論文

タイトル・書名 : Awake surgery with continuous motor testing for resection of brain tumors in the primary motor area.
著者 : Shinoura N¹, Yoshida M¹, Yamada R, Tabei Y, Saito K, Suzuki Y, Takayama Y, Yagi K.
発表誌名・ソース : J Clin Neurosci.
巻・号・ページ : 16 巻 2 号 188-94

刊行年月日：2009年

出版社：Churchill Livingstone

1. Contributed equally to this work

タイトル・書名：Assessment of the corona radiata sensory tract using awake surgery and tractography.

著者：Shinoura N, Suzuki Y, Yoshida M, Yamada R, Tabei Y, Saito K, Yagi K.

発表誌名・ソース：J Clin Neurosci.

巻・号・ページ：16 巻 6 号 764-70

刊行年月日：2009年

出版社：Churchill Livingstone

タイトル・書名：Combined damage to the right hemispheric hand area in the primary motor and sensory area plays a critical role in motor hemineglect.

著者：Shinoura N, Yoshida M, Yamada R, Tabei Y, Saito K, Suzuki Y, Yagi K.

発表誌名・ソース：Eur Neurol.

巻・号・ページ：63 巻 1 号 17-23

刊行年月日：2010年

出版社：Karger

タイトル・書名：Right temporal lobe plays a role in verbal memory.

著者：Shinoura N, Midorikawa A, Kurokawa K, Onodera T, Tsukada M, Yamada R, Tabei Y, Koizumi T, Yoshida M, Saito S, Yagi K.

発表誌名・ソース：Neurol Res.

巻・号・ページ：33 巻 7 号 734-8.

刊行年月日：2011年

出版社：Russak

主な学会発表【国内】

タイトル・演題名：重複奇形を伴った先天性脛骨欠損症の1例
発表者：吉田 瑞, 松宮 英彦, 豊島 修, 川手 信行, 水間 正澄
学会名：第19回日本リハビリテーション医学会 関東地方会
学会開催年月日：2002年1月12日

タイトル・演題名：脳梁離断症状を呈した陳旧性脳梗塞患者に対するリハビリテーション療法の一例
発表者：吉田 瑞, 高崎 幸雄, 笠井 史人, 水間 正澄
学会名：第40回日本リハビリテーション医学会学術集会
学会開催年月日：2003年6月18～20日

タイトル・演題名：脳梗塞による脳梁失行に対するリハビリテーションの経験
発表者：吉田 瑞, 高崎 幸雄, 笠井 史人, 水間 正澄
学会名：第41回日本リハビリテーション医学会学術集会
学会開催年月日：2004年6月3～5日

タイトル・演題名：未知相貌の誤認を呈する右半球損傷例に対する検討
発表者：吉田 瑞, 高山 吉弘, 水間 正澄
学会名：第42回日本リハビリテーション医学会学術集会
学会開催年月日：2005年6月16～18日

タイトル・演題名：タウパチーによる前頭葉機能障害に関する検討
発表者：吉田 瑞, 高山 吉弘, 水間 正澄, 川手 信行
学会名：第43回日本リハビリテーション医学会学術集会
学会開催年月日：2006年6月1日～3日

タイトル・演題名：右下縦束が視覚性記憶に重要な役割を持つと考えられた3例
発表者：吉田 瑞, 齊藤 邦昭, 田部井 勇助, 山田 良治, 篠浦 伸禎, 櫻井 靖久, 高山 吉弘, 辻 省二
学会名：第31回日本神経科学大会
学会開催年月日：2008年7月9～11日

タイトル・演題名：右側頭葉腫瘍に対する覚醒下手術中に多視を呈した一例

発表者：吉田 瑞, 林 俊宏, 篠浦 伸禎, 山田 良治, 田部井 勇介, 齋藤 邦明

学会名：第 14 回認知神経科学会学術集会

学会開催年月日：2009 年 7 月 25~26 日

タイトル・演題名：生物カテゴリー特異的意味記憶障害を呈した辺縁系脳炎後の一例

発表者：吉田 瑞, 林 俊宏, 海野 聡子, 武田 克彦, 辻 省次

学会名：第 34 回高次脳機能障害学会学術総会

学会開催年月日：2010 年 11 月 18~19 日

タイトル・演題名：視覚イメージの保たれた統合型視覚失認を呈した PIB 陽性

Posterior cortical atrophy の一例

発表者：吉田 瑞, 林 俊宏, 井原 涼子, 藤井 くるみ, 浜中 映子, 代田 悠一郎, 高橋 美和子, 百瀬 敏光, 岩田 淳, 辻 省次

学会名：第 30 回日本認知症学会学術集会

学会開催年月日：2011 年 11 月 11~13 日

タイトル・演題名：Hereditary diffuse leukoencephalopathy with spheroids の一例の言語症状

発表者：吉田 瑞, 林 俊宏, 三井 純, 岩田 淳, 辻 省次

学会名：第 18 回認知神経科学会学術集会

学会開催年月日：2013 年 7 月 27~28 日

タイトル・演題名：松果体腫瘍により記憶障害を呈した両側脳弓病変の一例

発表者：吉田 瑞, 林 俊宏, 藤井 くるみ, 川合 謙介, 岩田 淳, 辻 省次

学会名：第 19 回認知神経科学会学術集会

学会開催年月日：2014 年 7 月 26~27 日

タイトル・演題名：音読みが訓読み，熟字訓より障害された左中側頭回・角回皮質下出血による漢字の失読失書

発表者：吉田 瑞, 林 俊宏, 藤井 くるみ, 石浦 浩之, 辻 省次, 櫻井 靖久

学会名：第 39 回高次脳機能障害学会学術総会

学会開催年月日：2015 年 12 月 10~11 日

タイトル・演題名：左側頭頭頂葉腫瘍に対し，硬膜下電極刺激によるマッピングと覚醒下手術が機能温存に有効だった一例

発表者：吉田 瑞, 齋藤 邦昭, 林 俊宏, 武笠 晃丈,

田中將太，高柳俊作，齊藤延人，辻省次
学会名：第 40 回高次脳機能障害学会学術総会
学会開催年月日：2016 年 11 月 11～13 日